

# あおき通信

VOL13

MAY

2010年5月



## スタッフ研修！ IN 姫路城&天橋立

毎年恒例のスタッフ研修。今年も、話題の姫路城に行ってきました。空に向かってそびえ立つ白く美しいお城、咲き乱れる桜、浮かれるスタッフ。天守閣まで上るにはたくさんの門があり、美しい外見からは想像もつかない鉄壁の守りに感激しました。ここには、怪談話で有名な播州皿屋敷のお菊の井戸があります。ご存知でしたか？

また、股覗きで知られる京都天橋立も観光。イザナギが天に向かう為の道だとか・・・右上の写真は逆さまで激写。確かに、天女も舞い降りてきそうです。

そして、旅のラストは淡路島の淡路夢舞台。大阪湾を一望できる百段苑は山の斜面に沿って百の花壇が広がっています。花に囲まれて、一段と可憐な私たちでした。

### 私たちの目指すもの

歯科医療は、1950年から現代まで医療技術の進歩と共に考え方が大きく変化してきました。

痛みを取る治療(1950～1960年代)、早期発見早期治療(1970～1980年代)、必要最小限の補修に基づく歯科治療(1990年～)と、歯を保存する方向に変化してきました。しかし治療は「削る」「詰める」「抜く」「入れ歯を入れる」と根本的な内容は変わりませんでした。

そこで、発想の変換が必要になりました。そして登場してきたのが**リスクコントロール歯科医療(Risk Control Dentistry)**＝歯科疾患のリスクに基づく予防中心の歯科医療です(2000年代)。予防が第一で、問題が起らないようにすることをベースとします。そして問題が起ってしまったら(もとに戻すことはできない(再生しない)ので)質の高い治療をしっかりと行い、

その後の問題が起こるリスクを、いかに低い状態でコントロール(抑制)できるかということが歯を守る上で一番重要であるということです。私たちはこの考え方を早くから取り入れてきました。そして十分な実績も上げてきました。しかし歯を確実に守れる時代となりましたが、残念ながら保険治療制度自体はそこまで追いついていないのが現状。私たちは治療をきっかけとして、自分の歯を守ることの大切さをわかって頂き、積極的に予防する為に私たちをご利用して頂きたいのです。そして、おひとりおひとりがお口の健康に自信をもって、いきいきとした人生を手に入れて頂けるようにサポートすることが私たちの目指すものであり、この地域に「歯と口の健康を守る文化」を根付かせることが地域貢献と考えています。

## 衛生士ストーリー 第3章

### ～予防健診編～

前日。

患者さんのカルテとにらめっこです。前回、数値の高かった歯、歯磨きの仕方、部活中のスポーツドリンクなど今回はどうなっているのでしょうか？約束したこと守ってくれてるか心配です。



だ液検査・説明と続き、今回はよいよ予防健診です。あおき矯正歯科の健診は、虫歯を見つける・予防するだけではありません。お子様自身がコントロールできるよう教育します。

当日。

健診を楽しみに来てくれる子どもたちはとても元気です。まずは染出しをして自分で歯磨き。磨き方のチェック、萌出した永久歯の大切さ、食事の取り方など本人に指導します。そして、自分では取りきれないバイオフィルムを器械で除去します。きれいになった歯を虫歯メーター(ダイアグノデント)でチェック。これは、虫歯を確認するとともに口の中の状態が安定しているかを確認する大切な検査です。最後に、お家の方へ現状の説明と毎日の生活でのアドバイスを行います。お母さんも、ドキドキですね！



その夜。

今日の健診内容をカルテに記入します。経過を見る歯はもちろん、生活環境の変化、飲食の仕方、最近気に入っているおやつや衛生士が気づいた点・・・まるで自分の子供のように、よく見えています。だから、万が一治療が必要になったときのショックと言ったらありません！指導が足りなかったのかしら、何か見過ごしたかしたら、悲しくなるんです。



責任を持って子ども達の歯を守りたい、私たちはそう考え予防に取り組んでいます。虫歯を作らないだけじゃない、本人が自覚を持ってお口の健康に注意するようにしたいのです。今後もその思いで、私たちは頑張っまいります。

